

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

こどもの病気対策法^{⑩3}

ー入学、入園、入所準備としての感染症予防ー

大分大学地域医療・小児科分野 是 松 聖 悟

感染症を予防することの大切さは、何度もここでお伝えしてきました。24時間365日、小児科医がすぐに診察できる環境を整えても、治療法がない、もしくは重症化を予防できない感染症にワクチンが開発されています。「以前は、こんなにたくさんさんのワクチンはなかったのに、本当に必要な？」との声を、多くの保護者から聞きます。しかし、私たち小児科医は、外国では当たり前のように予防接種されているのに、当時の日本にワクチンがなかったために、救えなかった小さな命を少なからず経験してきました。治療法がないのですから、どんなに勉強しても、何日寝ずに治療しても、限界はあったのです。

ですから、24時間365日、すぐに診察、治療してもらえないはずの小児科医の子どもは、無料、有料（定期接種、任意接種）問わずに、予防接種を受けています。そして徐々に日本も外国と同じくらいにワクチンの数が整ってきました。ですから、以前はなかったのに：ではなく、やっとな、日本のワクチンの数は世界レベルに近づいてきたのです。

アメリカでは、ワクチンの接種漏れがある場合、入学を許可してもらえないってご存知でしょうか？集団生活の中で流行する感染症の怖さを理解している証拠です。日本ではそこまでは要求されませんが、アメリカ人より感染症に強いわけではありませんので、その年齢までに必要な予防接種の完了が求められます。

今回はチェックリストとして、保育所入所前（1歳児）、幼稚園入園前（年長児）、小学校入学前までに必要なワクチンを記載しました。お子さんやお孫さんの母子健康手帳を確認してください。そして接種漏れがある場合は、保健師さんやかかりつけの医療機関に相談してください。年齢によつては、年齢が超過した場合、接種できないもの（BCGワクチンやロタウイルスワ

クチン）や、有料になるものもあります。また、もともと定期予防接種でないために有料のものもありますが、日本小児科学会は子どもが健康で過ごすために、全てのワクチ

ンを推奨しています。津久見市はそれを理解し、任意予防接種の多くに公費助成しています。子どもを治療法のない感染症から守りましょう。

入学、入園、入所準備としての感染症予防 チェックリスト

保育所入所前 (1歳児)	→	☐ 4回のヒブワクチン ☐ 4回の肺炎球菌ワクチン ☐ 4回の4種混合ワクチン ☐ 1回のBCGワクチン ☐ 2または3回のロタウイルスワクチン (接種したワクチンの種類により必要回数異なる) ☐ 1回のMRワクチン ☐ 3回のB型肝炎ワクチン
幼稚園入園前 (年長児)	→	上記に加え ☐ 3回の日本脳炎ワクチン ☐ 2回の水痘ワクチン ☐ 2回のおたふく風邪ワクチン
小学校入学前	→	上記に加え ☐ 2回目のMRワクチン